

飯伊 産業経済動向

No.451 2016/10
(28. 11. 25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
経営相談所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,779	枚	△	0.3 %	5.9 %	
	金額	3,762,544	千円	△	21.7 %	9.6 %	
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 2 枚)		(前年同月 9 枚)	
	金額	0	千円	(前月 1,397 千円)		(前年同月 3,403 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	7	件	(前月 6 件)		(前年同月 7 件)	
	飯伊	1	件	(前月 0 件)		(前年同月 3 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(9月)		78	戸		11.4 %	30.0 %	
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(9月)		1.47	倍	(前月 1.41 倍)		(前年同月 1.34 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,172	台	△	15.3 %	△	6.4 %
	中古車	634	台		6.2 %	△	6.4 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(9月)	新車	4,287	台		46.8 %	△	8.0 %
	中古車	858	台		12.2 %		11.7 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	123,222	台		8.0 %	△	4.1 %
	出	123,948	台		7.5 %	△	4.1 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	87,264	台		9.1 %	△	1.4 %
	出	84,824	台		8.5 %		2.1 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	18,267	台		28.7 %	△	26.0 %
	出	18,770	台		32.3 %	△	26.6 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	49,056	台		16.2 %	△	7.2 %
	出	48,760	台		17.1 %	△	8.1 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		147	件	△	16.5 %	△	13.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		2	件	(前月 2 件)		(前年同月 3 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	28,049	人		4.0 %	2.5 %	
	飯田～名古屋	18,676	人		7.2 %	5.5 %	
	飯田～長野	10,272	人		9.5 %	△	5.2 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,486	人		5.1 %	△	8.4 %
	右回り	3,557	人		3.8 %	△	8.2 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当相談所が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに進めています。



再生紙を
使用しています

概況

製造業

10月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス3.3で、前月から6.4ポイント上昇。翌月予測は0.0で、前月から3.0ポイント下降している。

電子部品やモーター制御向け基板など電気・精密機械器具の販売は、前月比横ばい。景況感に動きは見られない。半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売の前月比は、横ばいとする業者もあるが、やや増加との声が多く、一部に景況感が好転した業者も見受けられた。産業機器、医療機器等部品の受注の前月比は、「受注増に対し生産が遅れ気味。受注残が大きくなってきている」など増加とする業者も少なくない一方で、「今月は客先も谷間で発注減」など減少との声も少なからず寄せられた。先行きの見方も分かれる。建築用金属製品の販売は、前月比やや増加も、前年比は減少との声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比やや減少～概ね横ばい。景況感に動きは見られない。小型電磁機器の販売は、前月比横ばい。FA関連モーターでは、「産業機械向け、車載向けともにほぼ横ばいで推移」との声が寄せられ、景況感にも変動は見られない。光学機器部品の生産は、前月比横ばい～やや増加。一部に景況感が好転した業者も見受けられた。電気、電子製品の生産は、前月比増加、「『健康経営』など国が推進する事業に関する引き合いが多い」など景況感も好転との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、減少～やや減少との声が多い。前年比もやや減少との声が多く、「消費低迷」の影響を指摘する声が少ない。「繁忙期に入り、人員、倉庫などの確保が必要となる」時期にある水引製品の販売は、前月比やや増加。一部に前年比も増加との声も。しかし景況感が好転した業者は見られない。漬物の販売は、前月比、前年比ともに減少、「天候不順、日照不足による生鮮野菜の高値が続いていることもあって、消費自体が芳しくないと感じている」との声が寄せられた。

建設業

10月の建設業の景況DIは、マイナス6.3で、前月から0.4ポイント上昇。翌月予測DIは、5.6で、前月より12.7ポイント上昇している。

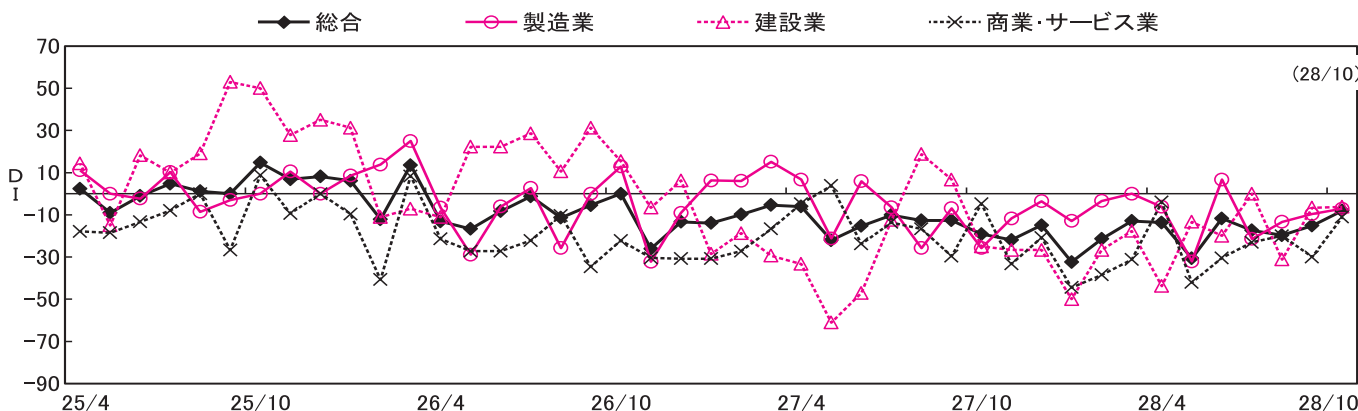
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約17.3億円で、前月比は17%減少、前年比も20%減少している(11月15日公表分まで)。「10月に入り公共工事の発注が本格的になった」との声も聞かれる当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に減少との声はあるものの、横ばい～やや増加との声が多い。しかし景況感、悪化との声は少ないが、好転した業者も見受けられない。

民需の住宅着工戸数(9月)の住宅着工戸数は78戸。前月比11%増加、前年比も30%増加している。当月の調査先業者の受注残高の前月比は、やや増加との声もあるが、横ばいとの声が多い。

商業・サービス業

10月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス11.1と、前月より18.9ポイント上昇。翌月予測DIも、マイナス11.8で、前月より11.7ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は、横ばい～やや増加。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少。家事用品卸の売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少という。家電の売上は、前月比増加。前年比は業者により増減分かれる。OA機器の売上は、前月比増加も、前年比減少との声。衣料品の売上は、前月比やや増加との声が寄せられた。娯楽用品の売上は、前月比、前年比ともに横ばい、次月以降は上向きという。土産物関連の売上は、前月比はやや増加。前年比は減少との声も。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比15%減少、前年比も6%減少。9月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は前月比47%増加も、前年比は8%減少。市内料理店の売上は、前月比、前年比ともに減少～やや減少とする声が多い。仕入単価で「野菜、魚が高い」一方、「販売単価は変えられない」という。市内ホテル、旅館の売上は前年比やや減少～概ね横ばい。「お練り年の例にもれず全般的に売上減、特に婚礼は大幅な減少」との声が寄せられた。昼神温泉からは、「昨年に比べ個人客が増加したため売上もいまいち」との声が寄せられた。旅行代理店の売上は、「秋の観光シーズンピークを迎え」前月比やや増加という。タクシーの売上は、前月比やや増加、前年比は減少という。

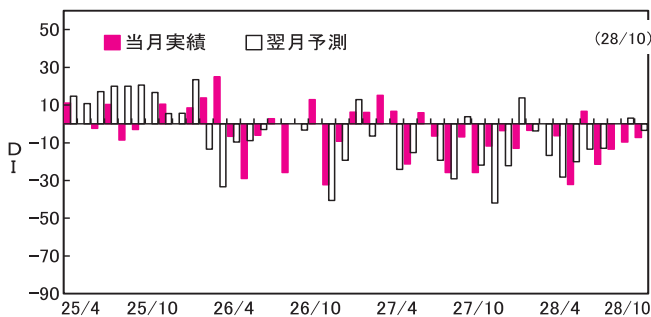
飯伊地区景況DI (本誌調査)



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月実績	-3.3	(前月 -9.7)
翌月予測	0.0	(前月 3.0)

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス3.3で、前月から6.4ポイント上昇。翌月予測は0.0で、前月から3.0ポイント下降している。

水引業界における本誌調査協力企業から「10月期は婚礼シーズンだが、『もったいない』の感覚からか、『おつきあい』の場であっても品物の行き来が減っている」との声が聞かれる。

「ゼクシィ『結婚トレンド調査2016』長野・山梨」によると、長野県と山梨県で2015年4月～2016年3月に結婚（挙式・披露宴・披露パーティー）をした、もしくは予定のあった「ゼクシィ」読者のうち、「結納のみ行った」もしくは「結納、両家の顔合わせ両方行った」と回答した割合は23.8%だった。

調査年	両方行った	結納のみ行った	両家の顔合わせのみ行った	どちらも行かなかった	無回答
2016年 (n=168)	16.7%	7.1	73.8	2.4	-
2015年 (n=164)	20.1	9.1	65.9	3.7	1.2
2014年 (n=219)	26.5	7.8	60.7	3.2	1.8
2013年 (n=169)	26.6	11.8	60.4	1.2	-
2012年 (n=237)	23.6	11.8	61.2	2.1	1.3
2011年 (n=184)	27.2	14.1	54.9	2.7	1.1
2010年 (n=195)	33.3	7.2	55.4	3.6	0.5

同調査において結納実施者に結納金や結納品（結納道具）の有無を尋ねたところ、「結納金・結納品（結納道具）両方ともあった」「結納品（結納道具）のみあった」と回答した割合は、42.5%だった。

調査年	結納金・結納品（結納道具）ともあった	結納金のみあった	結納品（結納道具）のみあった	結納金・結納品（結納道具）ともなかった	無回答
2016年 (n=40)	37.5%	40.0	5.0	12.5	5.0
2015年 (n=48)	66.7	27.1	4.2	2.1	-
2014年 (n=75)	52.0	41.3	1.3	5.3	-
2013年 (n=65)	47.7	38.5	6.2	4.6	3.1
2012年 (n=84)	64.3	26.2	3.6	4.8	1.2
2011年 (n=76)	59.2	31.6	1.3	7.9	-

また、結納品（結納道具）があった人のうち、金額回答者に結納品（結納道具）の金額を尋ねたところ、長野県、山梨県では平均24.8万円だった。標本数にも

よるが、本調査によれば富山、石川、福井が最も高く、33.7万円となっていた。

地域別	調査数	5万円未満	5～10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50～60万円未満	60万円以上	平均・万円
		全国(推計値)	26.8	21.6	25.7	9.6	5.9	2.1	2.8	5.6
北海道	9	44.4	22.2	11.1	11.1	-	11.1	-	-	9.8
青森・秋田・岩手	6	33.3	16.7	50.0	-	-	-	-	-	7.8
宮城・山形	12	50.0	-	33.3	8.3	-	-	-	8.3	19.2
福島	13	61.5	30.8	7.7	-	-	-	-	-	4.1
茨城・栃木・群馬	7	42.9	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	7.0
首都圏	32	37.5	25.0	25.0	3.1	-	-	-	9.4	18.1
新潟	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	12.5
長野・山梨	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	24.8
富山・石川・福井	12	8.3	16.7	16.7	8.3	25.0	-	8.3	16.7	33.7
静岡	8	50.0	12.5	25.0	-	-	-	12.5	-	10.6
東海	23	21.7	26.1	17.4	4.3	21.7	4.3	-	4.3	18.4
関西	33	27.3	18.2	15.2	12.1	6.1	6.1	9.1	6.1	19.3
岡山・広島・山口・鳥取・島根	19	5.3	21.1	26.3	15.8	10.5	10.5	5.3	5.3	22.2
四国	9	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	5.9
九州	74	12.2	18.9	36.5	18.9	8.1	-	2.7	2.7	15.6

（図表は全てゼクシィ「結婚トレンド調査2016」調べ）

機械加工製造業

電子部品やモーター制御向け基板など電気・精密機械器具の販売は、前月比横ばい。景況感に動きは見られない。先行きにも、大きな動きはないとの声が多い。一部に製品在庫が増加しているとの報も。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面では現状維持との声が多い。設備面で積極的な声は聞かれなかった。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売の前月比は、横ばいとする業者もあるが、やや増加との声が多く、一部に景況感が好転した業者も見受けられた。「スマホ関連は依然調整中だが、スポット的な発注増があった」「フラッシュメモリ向け堅調」「FPD関連良好」などの声。先行きの見方は増減分かれる。「原材料下げ止まり」など、当月原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、先行き上昇を予想する声も聞かれた。雇用面では、概ね現状維持の様子も、一部に「充足しているが、今後補充を予定」との声も。設備面では「今後予定」「老朽設備更新」などの声が聞かれた。

産業機器、医療機器等部品の受注の前月比は、「受注増に対し生産が遅れ気味。受注残が大きくなってきている」など増加とする業者も少なくない一方で、「工作機械向けやや減少」「今月は客先も谷間発注減」など減少との声も少なからず寄せられた。先行きの見方も分かれ、「次月以降の発注が増えてきた。それに伴い在庫も増加見込み」など増加を見込む声も複数ある一方で、やや減少を見込む声もある。販売面では当月やや減少との声が多いが、これには受注の減少に伴うもの他、「技能アップでコストダウンと受注の拡大を目指す」といった動きもある様子。製品価格に関しては、他にも「コストダウンの依頼があった」「単価は上がらない」などの声のほか、「コストダウンの話はまったくない」などの声も。こうした中、景況感には、「景気が悪い。物流が少ない」「事業の縮小が続いている」「全般的に動きが鈍いとの声が多い」「同業者からは良い声が少ない」「精密加工物のロットが小さい」など悪化した業者も複数見受けられたが、「変化なし」といった声が多くを占める。

原材料、資材価格に大きな動きはなかったとの声が多いが、「アルミがキロ当たり10円ダウン」との報。雇用面では、「即戦力なら。今後は動向を見ながら」など現状維持との声が多いが、「パートを僅かに増員。今後海外実習生の受入」「求人中」「技術系の人材を採用。今後も継続」などの声も寄せられた。設備面でも

「今のところ予定なし」など現状維持との声が多い中において、「ものづくり補助金を利用して導入した」「僅かだが導入を予定」「新旧の入れ替えはある。今後は様子見」などの声もある。

建築用金属製品の販売は、前月比やや増加も、前年比は減少、「相変わらず発注が遅れている。この時期としては動きが大変悪い。資材の納入業者の話も同様で、これは全国的な傾向だ」との声が寄せられた。先行きは上向きを見込んでいるという。雇用面で「増員を予定。募集中」などの声が聞かれたほか、設備面でも積極的な声。原材料価格に関し、「現状は変化がない」ものの、先行き上昇を予想しているという。

自動車向け部品の販売は、前月比やや減少～概ね横ばい。前年比は業者により増減分かれる。景況感に動きは見られない。先行きに関する見方は分かれるが、上向きとする業者であっても「アメリカで燃料の値下がりなどによりハイブリッド車の売行きが低迷している。同国の政権が代わり通商政策に変更があると、日本車の売行きが更に低迷するのではないかと不安がある」など不透明感を指摘する声が聞かれた。雇用面で「先月同様人が集まらない状態が続いている」「パートタイマーを募集しているが、女性従業員が集まらない。派遣会社でも人が見つからない様子」などの声が寄せられた。

小型電磁機器の販売は、前月比横ばい。景況感に動きは見られない。一部に先行き増加を見込む声も。雇用面で不足感があるとの声も聞かれた。設備面では概ね現状維持の様子。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

FA関連モーターでは、「産業機械向け、車載向けともにほぼ横ばいで推移」との声が寄せられ、景況感にも変動は見られない。先行きも大きな動きは見込まれていない様子。原材料、資材価格がやや上昇している一方、製品価格の下降が続いているといい、この傾向は続く見込みという。

光学機器部品の生産は、前月比横ばい～やや増加。一部に景況感が好転した業者も見受けられた。先行きも弱含んでいるとの声は聞かれぬ。雇用面で「不足。増やす予定」「不足気味。やや増員を検討中」など不足感を指摘する声が複数寄せられた。設備面では「入れ替え予定」「実施済み。当面様子見」などの声が寄せられた。

電気、電子製品の生産は、前月比増加、「『健康経営』など国が推進する事業に関する引き合いが多い」など景況感も好転との声が寄せられた。こうした業者からは雇用面でも積極的な声が聞かれた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、減少～やや減少との声が多い。前年比もやや減少との声が多く、これには「稼働日が少なかったため」といった事情もさることながら、「例年この時期は動きが悪いが、予想以上に落ちている」「一回あたりの発注単位が小さくなっている」「特売の回数が減少している」など、「消費低迷」の影響を指摘する声が少ない。先行きに大きな動きは見込まれていない様子。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。雇用面で積極的な声は聞かれぬ。設備面では、「実施中」「機械導入」などの声もある。

「繁忙期に入り、人員、倉庫などの確保が必要となる」時期にある**水引製品の販売は**、前月比やや増加。一部に前年比も増加との声も。先行きも増加を見込む業者が多い。しかし景況感も、「スーパー、ホームセンターなどのほか、ドラッグストアでも伸びている」とする業者であっても却って悪化しているほか、「スポットの引合などはなく、概ね平穏な業況」「10月は婚礼シーズンだが年々減少している」など好転した業者は見られない。原材料、資材価格に関し、一部に前年に比べ下降しているとの声。製品価格に大きな動き

はなかった様子。設備面で、一部に積極的な声も聞かれたが、概ね現状維持。「2年続けて開催した『飯田水引コンテスト』も今年の方針を固められず、業界には手詰まり感も」「新しいことをし続けることが最優先であることに疑いはないが、当業界には暮らしの文化、伝統を伝承していく義務もある。正月用品は、正月らしさを演出する商品としてのみならず、神仏に関わる製品としての意義がある。人と人を繋ぎ、結びつける役割を担い続けることは必須。意義のあることでなければ続かないと思う」などの声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともに減少、「天候不順、日照不足による生鮮野菜の高値が続いていることもあって、消費自体が芳しくないと感じている」との声が寄せられた。こうした事情は生産にも影響がある様子で、「浅漬原料、特に野沢菜の原料不足で浅漬については売上減」という。雇用面で積極的な声が聞かれた。

その他製造業

食品関連包材の生産は前月比横ばい、先行きも大きな動きは見込んでいないとの声が寄せられた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

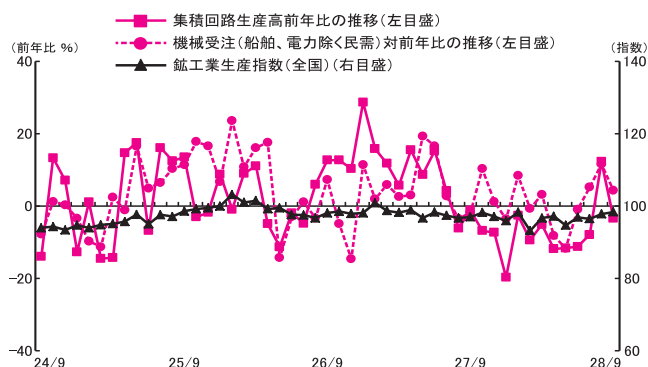
印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比ともやや増加、「新企画品の仕事により増加」との声が寄せられた。先行きも増加が見込まれているが、「年賀はがき、年末年始チラシでどこまで売上を伸ばせるか。年賀はがきに関しては、コンビニ、量販店、郵便局などの取扱いが大きく影響しそう」との声。雇用面で「当社もそうだが、取引先などからも営業職の応募者が少ないとの声を聞く」という。設備面で積極的な声がある。

衣料品の売上は、前月比、前年比ともやや減少との声が寄せられた。「百貨店からの受注が大幅減。昨年のダウンの売れ行きが悪かった上に夏が暑かったため、冬物の仕掛が遅れたのが原因であろうと思われる。このままでは春夏物の投入も不安」「国内のカットソーの動きが鈍く、工場も空き状態と聞く。いずれにせよ洋服全体が売れていない」「海外のニット工場が相次いで廃業している」などの声。先行きも弱含みという。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面の不足感が続いており、「実習生の増加や新卒者の募集」を考えているとの声が寄せられた。

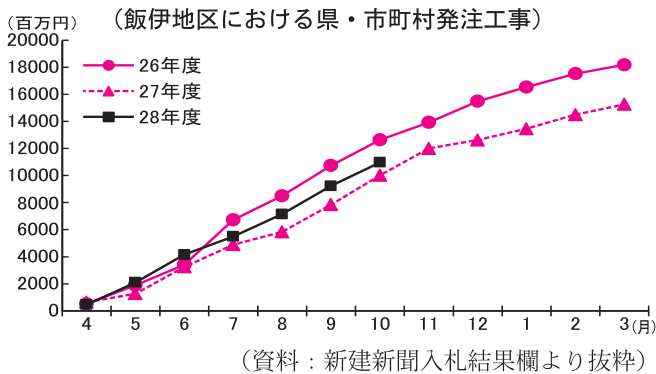
【企業からのコメント】

- ★県外の得意先に助けられている。
- ★売上は、客先によって2割方増加した業種もあればそうでないものもあり、まちまち。全体で前年に比べ増加した。
- ★同業も忙しそう。
- ★二極化が目につく。

集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



入札額累計の推移



当月景況DI -6.3 (先月 -6.7)

翌月予測DI 5.6 (先月 -7.1)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約17.3億円で、前月比は17%減少、前年比も20%減少している(11月15日公表分まで)。

「10月に入り公共工事の発注が本格的になった」との声も聞かれる当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に減少との声はあるものの、横ばい～やや増加との声が多い。しかし景況感、悪化との声は少ないが、好転した業者も見受けられない。「発注量は例年になく少ない」「追加受注は動きが鈍い」「受注残高は増加したが、年内完成予定物件が多い」「大型工事の納期がある内は残高はあるが、終われば一気に減少する」「公共事業の早期発注と平準化により当初予算の執行はできた模様だが、全体に行き渡るほどではなかった。期待された補正予算も発注予定件数が少ない。来年度当初くらいまで地元業界にとっては辛抱の時では」「公共建築は、少し出ているが偏りが大きい」「土木は忙しくなってきた」「土木はだいたい発注されてきた様子。建築は少ないと思われる」「公共工事が出始め、リニア工事もあり動き出した感」「大型工事が受注で少し安心」「建築工事は引き続き十分」「村発注工事などで受注残増加。小規模工事を手堅く確保していきたい」などの声が聞かれた。

先行きに関し、「12月の補正予算に期待」「補正予算で工事が発注されてくる。リニア関連工事と相まって、人材、資材、機材の不足が予想される」などの声が寄せられた。

設備面で、「ICT機械」「パソコン」「業務用高度機材」など、情報技術等の導入を図る声が複数聞かれた。

民需

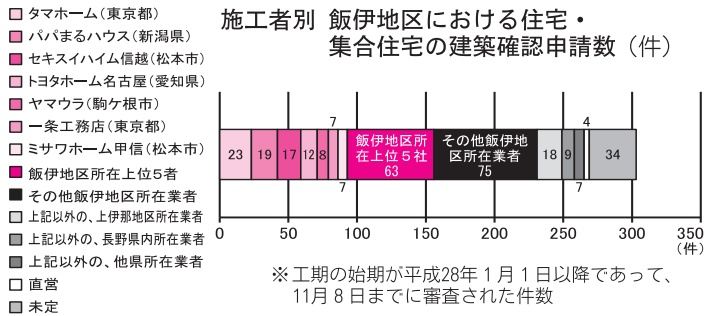
当地区の9月の住宅着工戸数は78戸。前月比11%増加、前年比も30%増加している。

当月の調査先業者の受注残高の前月比は、やや増加との声もあるが、横ばいとの声が多い。「競争激化の中受注は低調だが、長年の営業物件を受注できた」「新築住宅とリフォームは幾分盛り返してきたが、十分には程遠い」「公共、一般とも受注がほとんどなく苦しい」「住宅新築工事はない。住宅改修工事、下請工事のみ」など多くの業者で景況感の好転には至っていない。

雇用面で「人員不足。だんだん補充」との声も。資材価格や工事単価に大きな動きはなかった様子。

飯伊地区における住宅、集合住宅の建築確認申請件数を施工者別に見ると、工期の始期が平成28年1月1日以降であって、11月8日までに審査された303件のうち、申請時点で施工者が決定していた中ではタマホー

ムの23件が最も多く、次いでパパまるハウスの19件などとなっている。全申請件数のうち、当地区に所在する業者が施工者となっていた件数は138件で、その内上位5社で46%を占めていた。



建設資材

建材、塗料等の売上は、前月比やや減少、前年比は業者により増減分かれる。「毎日忙しいのだが、今のところ売上に反映されていない」「現在、職人不足で一部工事が受けられない状態」などの声が寄せられた。先行きの見方は分かれ、「年末にかけて徐々に良くなることを期待している」との声も。当月、原材料、資材価格や販売価格に大きな動きはなかった様子。

鋼材の売上は、前月比概ね横ばい、「殆ど変わらない。全般的に低調に推移。好調な業種が見られず需要の回復がない」「都市部と違って目立った物件もなく、個人消費も低迷しており回復のきっかけがない。当分苦しい状況が続くと覚悟している」などの声。「鋼材相場は、メーカーの値上げ志向はあるが、実需が未だ整わず上昇ムードになっていない」という。

生コンの売上は、前年比増加。一部に前月比減少との声も聞かれたが、こうした業者でも景況感好転している。「先月に続き、砂防、堰堤、護岸など公共土木工事の出荷が増え前年比増加。しかし前月比は減少しており、リニア関連工事など明るい材料はあるものの、近況には不透明感も漂う」「堰堤工事が始まり、まずまずの出荷量があった。県工事の出荷が発注され、年度末に向かって期待が持てそう」などの声が寄せられた。

骨材等の売上の前月比は、「弊社取引先コン工場が公共土木工事で出荷し、久しぶりに活発な荷動き。建設現場の路盤材の引き合いも活発になってきた。今月限りにならないよう期待」「前年比増加も前月比マイナスイナス。景況感悪化」など分かれる。「地域差はあるが、幾らか活発になった感。もっとも顧客の手持ち工事は、多少の差はあるが、全般に少ないように見える」「リニア関連工事はまだ始まっていない」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★地元業者は大手の下請けに徹しているが、定年などによる人手不足で雇用面に不安がありそう。
- ★一部の職人が不足して、工事に支障が出ているという話も聞く。

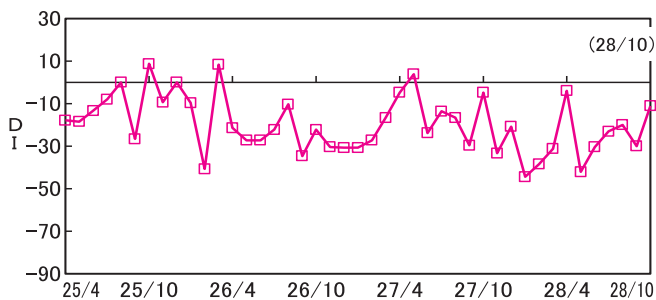
住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

10月	〇下伊那地方事務所
新築	11件 (前年 6件)
増築	1件 (前年 1件)
〇飯田市役所分	
新築	22件 (前年 24件)
増築	1件 (前年 2件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI -11.1 (先月 -30.0)

翌月予測DI -11.8 (先月 -23.5)

商業

食品品の売上の前月比は、横ばい～やや増加。「松茸は不作に終わったが、日曜日が昨年よりも1日多かったことや、地区の運動会などの効果もあり売上が回復した」などの声。「天候不順で葉物野菜の高値が続いている。じゃがいも、コーン等の加工品も品薄状態」との報が寄せられた。

【青果卸売市場】

売上は前月比、前年比ともに増加。「長雨による極端な品薄のための単価高」が要因という。

野菜は、「昨年に続き長雨と台風による天候不良のため全ての品目で大幅な高値となった。入荷量は前年比13%減で価格は37%高。しばらく高値は続きそうである」との声。

果実は、「主力品目のみかんは25%減、梨33%減、りんご29%減で果実全体でも27%入荷減、価格は27%高で野菜同様に品薄による高値がしばらく続きそう」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、先行きに関する景況感の好転には至らないものの、年末に向けやや増加を見込んでいるという。

家事用品卸の売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少という。「昨年はリニューアル店舗等による売上増加もあったが、今年はそうした要因もない」「雨により運動会が中止になったりして元気が出ないところが多かった」などの声。雇用面で「社員を募集しているが、ハローワークからもなかなか紹介がなく人手不足」という。

家電の売上は、前月比増加。前年比は業者により増減分かれる。「10月初旬は気温が高めで暖房器具が思うように出なかったが、冬でもエアコンを暖房に使う家庭が増え、高機能な小型エアコンが順調に売上を伸ばしている」という。また「LED照明は台数を伸ばしているが、冷蔵庫、洗濯機といった白物家電は低迷」との声も。電気設備工事等に関し、「価格が安く利益を出すのが難しい状況」「自動車関連の精密機器が好調」などの報が寄せられた。

OA機器の売上は、前月比増加も、前年比減少、「諸般の事情でレジスター等の購入が増加している」との声が寄せられた。雇用面で「募集中、補充」など積極的な声も。

衣料品の売上は、前月比やや増加、「昨年は改装セールがあった」こともあって前年比はやや減少との声が寄せられた。設備面で「当面見送り」との声も。

娯楽用品の売上は、前月比、前年比ともに横ばいという。次月以降は上向きとの声。

土産物関連の売上は、前月比はやや増加。前年比は減少との声も。「売上、来客ともに前年比大幅に減少。対策が見当たらない」との声。今後「製品販売へ注力」との声が寄せられた。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台

数は、新車は前月比15%減少、前年比も6%減少。中古車は、前月比6%増加、前年比は6%減少。9月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は前月比47%増加も、前年比は8%減少。中古車は前月比12%増加、前年比も12%増加。

サービス業

市内料理店の売上は、前月比、前年比ともに減少～やや減少とする声が多い。「安いものが動いているという話を聞く」「宴会が少ない上に、ピークが短い。また、あまり飲まない」などの声が寄せられた。仕入単価は「野菜、魚が高い」一方、「販売単価は変えられない」という。「商品開発(目玉商品)の研究」「サービスの見直し」を検討する声も聞かれた。

市内ホテル、旅館の売上は前年比やや減少～概ね横ばい。「お練り年の例にもれず全般的に売上減、特に婚礼は大幅な減少」との声が寄せられた。雇用面で不足感を指摘する声も。

昼神温泉からは、「昨年に比べ個人客が増加したため売上もまいち」との声が寄せられた。「紅葉も次第に里へ降りてきており、今後の色づきに期待」との声。設備面で「機械類、建物の維持費負担が大きくなっているが、当面は修理で対応していく」という。「天皇陛下をお迎えするにあたり村全体に活気と緊張が感じられる」との声が寄せられた。

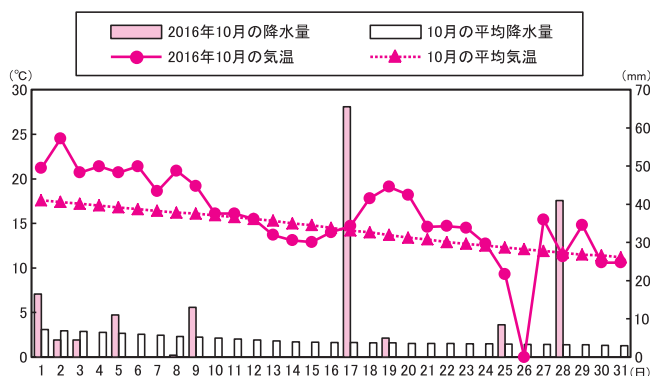
旅行代理店の売上は、「秋の観光シーズンピークを迎え」前月比やや増加という。国内旅行は「紅葉見物や温泉・グルメなどの観光旅行のみならず、視察研修やイベント参加を取り入れた行程も多く見受けられた」という。海外旅行は「近場のアジア各国をはじめ、ヨーロッパツアーなども実施された」との声。「取扱件数、売上高は前年並みとなりそうだが、収益率の低下や予約管理などにかかる経費や手間が問題となっている」との声が寄せられた。「年末年始から2月にかけての旅行相談も徐々に増えてきているが楽観はできない」との声が寄せられた。

タクシーの売上は、前月比やや増加、前年比は減少という。「昨年の対前年増加分を差し引いても一昨年前からの落込みは大きく、大変厳しい状況。依然夜間の利用者の減少が深刻」などの声が寄せられた。「最低賃金の改定により厳しい経営環境の中で経営を安定するためにどうするか考えることが必要」という。雇用面では「数名募集」との声が聞かれ、「サービスの需要に対応できる労働力確保も大きな問題。各社人手不足は解消されていないのではないか」という。

【企業からのコメント】

- ★全体にお金を使わない気がする。
- ★一番の関心事がリニア工事関連の売上。これからの数年間どう響いてくるか。
- ★リニア関連で当地域に多くの労働者が集まってくることや、関連事業で建設業界が活気づくことを期待。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目(14) 袴と禪

飯田信用金庫 経営相談所
専門アドバイザー 小泉 敏郎

どこの世界にも嫌な奴はいるものだ。

本当はその人が嫌な奴ではなくたまたま自分と反りが合わないだけかも知れないし、あるいは自分が世間的に見て本当に嫌な奴なのかも知れない。

しかし、人間という生き物は自分を正当化しなくては生きていけないものなのだ。

まだ私が若い頃、とにかく嫌な上司がいた。部下には冷たく当たり、功績は自分のものにし、失敗した責任は部下に押し付ける。常に機嫌の悪い顔をしており、側に行くのも憚られた。

しかし、そんな上司が別人のように明るくニコニコする場面がある、それは社長とか役員クラスと対応している時である。にこやかで人柄もよく真面目で頼もしそうな社員の顔をしている。上に対しての顔と下に対しての顔が180度違う、よく世間で言われる平目族だ。私を含め多くの部下達はそんな上司の普段の後姿を嫌と言うほど見ているので、その上司の人間性も十分に把握している。だが社長や役員から見れば温和で人当たりもよく優秀な部下に見えたのだろう、とんでもない話だ。どこの企業にも必ずいる人種の一人だ。

人間、真正面から相手と対応するときは緊張し、顔も繕う事が出来る、しかしその後姿は繕うことはできない。余所行きの顔をして対応している人を傍から見たとき、普段の顔とあまりにも違う顔だと、その人の人間性を疑いたくなる。

まだクーラーの普及していない頃の話だが、時代劇の撮影現場を見に行ったことがある。

真夏の暑い盛りの頃だった。袴姿の俳優が鬘を被り刀を帯びて演技をしていた。

真正面から見るときちんと衣装を着けているのだが、後姿は袴も着物も紐があるだけで、裸の背中が見えていた。袴も前だけで、後ろは紐でできている。下着の禪が丸見えであった。

表と裏のあまりの違いに驚いたものである。

先ほどの平目上司の背中を見ながら時代劇の撮影現場を思い出した。後姿の何と無防備なことよ。

会社でも個人での付き合いにしる、真正面の相手には本気に対応しているし、意識も注意力も向けている。ところが後ろに対しては目も付いていないので、あらゆる意識、感覚が鈍くなっている。

五十年近く前の話だが、私が会社に就職した時に親父に言われた言葉がある。

「意識しなければならないのは、上司ではなく部下や後輩だ、目下の人間は必ず目上の人間の言動を注意深く観察しているものだ」

一般的にみて上司から受けの良い社員は部下からはあまりよく見られていない。逆に部下から信頼されている社員はあまり上司からの受けが悪くなく出世が遅れている場合が多い。

不思議なことに両方に受けのいい人間はあまり見られないものだ。

社長から見ると可愛い部下とはどんな人間を言うのだろうか。自分の思うように細かい指示をしなくても的確に動いてくれる部下なら可愛いかも知れない、都合の良いことを言ってくれる部下が好きかも知れない。痒いところに手の届く部下がいいかも知れない。

しかし本当にそんな都合の良い部下だけを揃えたらどんなことになるのだろうか、会社経営が上手く回っていくものなのか。

それでは社長自身の技量の幅以上のことはできなくなり、会社の成長は止まってしまうだろう。

城の石垣を見ると大きな石だけできっちり組まれているわけではない。大きな石と石の隙間や間隙には小さな石が組み込まれている。大小形状の違う石で組みあがっている。

会社組織も同じで、いろいろな考え方をを持った人間がいるからこそ成り立つものだ。幅広い人材がいるからこそ成り立ち、新しいことや幅の広いことにも挑戦もしていけるのだ。

昔、中国の皇帝の下には諫言太夫という職務があったと聞いたことがある。諫言太夫とはどんな者かという、苦言、直言、諫言を皇帝に言うのが仕事らしい。耳の痛いことを齒に衣を着せず直接本人に伝える役目らしい。

お互いを信頼しあい人間関係ができていなければ実に難しいことだ。日本の会社では中々難しいことかも知れないが、そういう部下が欲しいものだ。

では、部下から信頼され頼りにされる上司とはどんな者なのだろうか。当然仕事ができるに越したことはないが、優しいだけではなく厳しさを持ち合わせ、頼りになる人であろうか。

社長としてどんな人間を昇進させるかを考えたとき、自分に当たりのあまり良くない人でありながらも頼もしく、リーダーシップのある人がいいのだろうか？

人は正面からだけ見ても分からない、後ろから横からあるいは上から下からとあらゆる角度から見る必要があるのでは。貴方の会社では如何ですか？

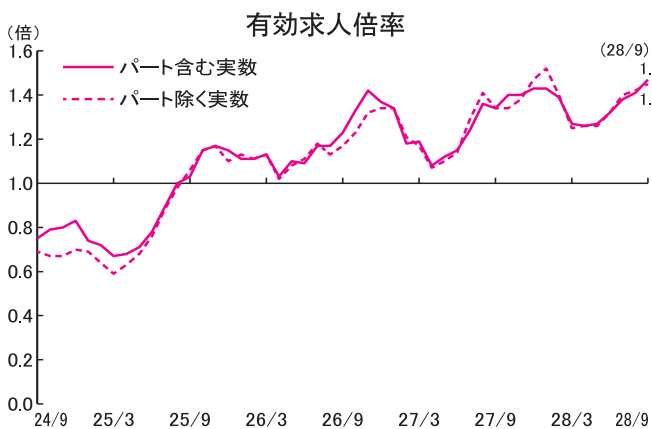
不確定の時代、もし貴方が裸の王様になりたくないならば、どんな部下を育成し、どんな部下を引き立てるのが最適なのか、是非考えてみてください。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

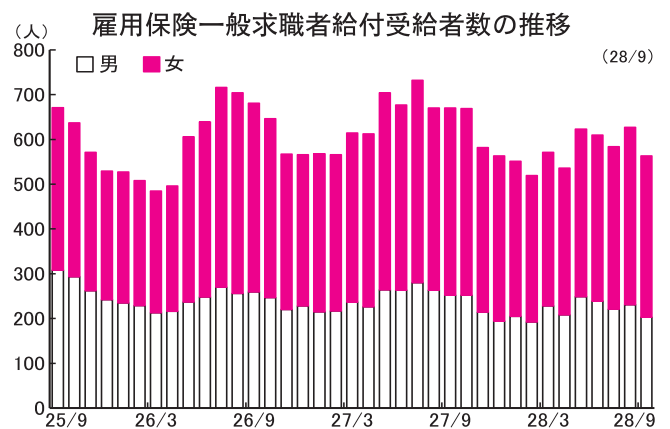
今回本誌執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 経営相談所（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



9月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.47倍と、前月から0.06ポイント上昇。パートを除く実数は1.45倍で、前月から0.03ポイント上昇している。



9月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は28人減少、女性も36人減少しており、全体では563人と前月から64人減少している。

(資料：ハローワーク 飯田)

「第9回 三遠南信しんきんサミット 『三遠南信地域に関するアンケート』調査結果」にみる特徴 ～ 個人編（その1） 南信州地域は三遠南信道全通への期待大～

三遠南信地域の8信用金庫が持ち回りで共同開催する「三遠南信しんきんサミット」。第9回目となった本年は、去る11月3日、飯田市で開催されました。

今回のサミットでは、8信用金庫による共同調査「三遠南信地域に関するアンケート」（以下、本アンケート）を実施し、サミットフォーラムの席上その結果が発表されました。本欄ではその内容を数回にわたって紹介いたします。



三遠南信しんきんサミット
「丘フェスナミキちゃんTシャツ」姿で
テープカット

1. 画期的調査

調査は、3地域の信用金庫、遠州地域の浜松・磐田・掛川・遠州信用金庫、東三河地域の豊橋・豊川・蒲郡信用金庫、南信州地域は飯田信用金庫が実施しました。対象は、個人編として3地域住民の皆さま（3地域に勤務する者を含む）、事業所編を地域の事業所に依頼いたしました。

アンケート回収実績は個人編が1,230、事業所編は642に上ります。南信州地域での調査には、当「飯伊地区産業経済動向」誌の調査先および読者の個人・事業所の皆さまにも多数ご協力いただき、回答をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

個人編の回収内容は下記の通りです（報告書6頁）。

(1) 回答者地域別

遠州地域 497 東三河地域 346 南信州地域 387 計 1,230

(2) 回答者年齢区分

年齢区分	総計		遠州		東三河		南信州	
20代	164	13.3	77	15.5	57	16.5	30	7.8
30代	214	17.4	101	20.3	57	16.5	56	14.5
40代	296	24.1	122	24.5	84	24.3	90	23.3
50代	274	22.3	100	20.1	84	24.3	90	23.3
60代以上	272	22.1	96	19.3	64	18.5	112	28.9
無回答	10	0.8	1	0.2	0	0.0	9	2.3
計	1,230	100.0	497	100.0	346	100.0	387	100.0

(3) 回答者性別

性別	総計		遠州		東三河		南信州	
男	663	53.9	267	53.7	182	52.6	214	55.3
女	556	45.2	230	46.3	164	47.4	162	41.9
無回答	11	0.9	0	0.0	0	0.0	11	2.8
計	1,230	100.0	497	100.0	346	100.0	387	100.0

三遠南信地域に関しては、これまで公的あるいは民間の機関により何回か調査が行われています。最近では、27年3月に三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）による調査（（一財）長野経済研究所受託）が発表されています。個人を対象としたこの調査は、サンプル数342。WEBアンケートで行われたため、三遠南信地域に居住するとする回答者は合計で11.9%、約40名程度となっています。本アンケートでは、サンプル数は3地域で1,230先に上っており、3地域に居住または勤務する方々の意識や関心を捉えるという目的が達せられたと考えます。

三遠南信地域の事業所である信用金庫が、共同して、自ら自地域の個人または事業所に対し調査に取り組んだことは、画期的な調査であるといえます。

2. 三遠南信自動車道全線開通に対する期待

三遠南信自動車道は、新東名高速道路の浜松いなさJCTから愛知県鳳来峡IC間と飯田山本JCTから天竜峡ICまでが供用区間となっている他、他区間においては工事が順次取り組まれているところです。

三遠南信自動車道全線開通に関する期待を聞いた結果は右グラフの通りです（報告書81頁）。

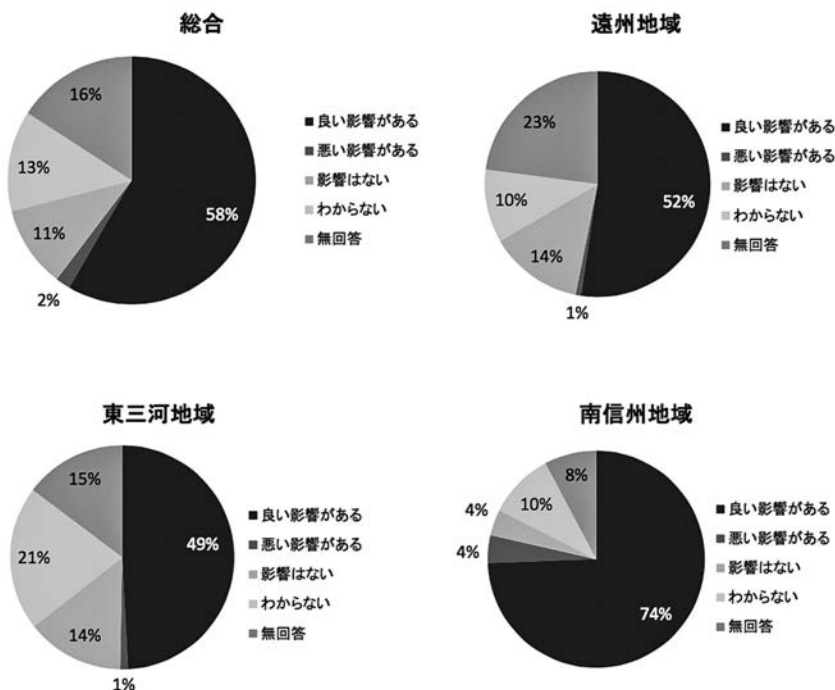
全体で「良い影響がある」は58%、「悪い影響がある」は2%でした。

地域別では、南信州地域は「良い影響」が74%となっているのに対し、遠州地域、東三河地域はそれぞれ52%、49%となっています。

「影響はない」は、南信州地域が4%に対し、遠州地域、東三河地域は同じ14%でした。

他方で、「悪い影響」は遠州地域、東三河地域が1%なのに対し、南信州地域は4%となっています。

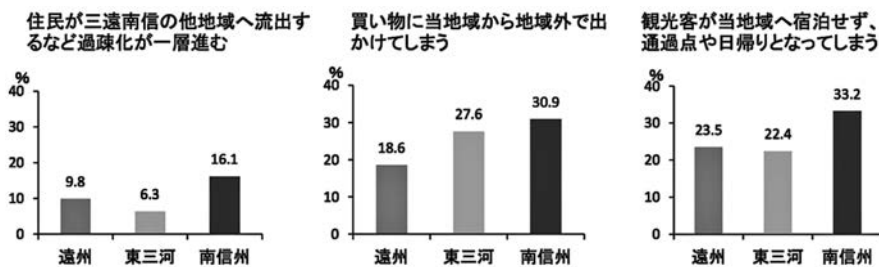
三遠南信自動車道の全線開通はあなたの地域にとってどうですか



3. 大きな期待と裏腹の懸念 ～ 三遠南信地域 ～

このことは、別の設問「三遠南信自動車の全線開通はどのような影響がありますか」（82頁）で、マイナス効果の項目といえる「過疎化が一層進む」、「買物に当地域から地域外へ出かけてしまう」、「観光客が当地域へ宿泊せず通過点や日帰りとなってしまう」、の3項目で、いずれも南信州地域が他の2地域を上回っており、当地域にとって三遠南信自動車道は「希望の光」としても「新たな脅威」であることを意識しているものとみられます。

三遠南信自動車道の全線開通はどのような影響がありますか



本アンケート報告書は、飯田信用金庫HP（<http://www.iidashinkin.co.jp/region/sanen/>）に掲載しています。

（飯田信用金庫 総合企画部 リニア対策室 加藤 修平）